

令和5年度健康長寿ふくしま会議 議事概要

1 日時等

令和5年11月21日（火）14：00から14：40

ウエディングエルティ1階 スクエアルーム

2 出席者

別紙出席者名簿のとおり

3 知事あいさつ

令和五年度健康長寿ふくしま会議に御出席いただき、本当にありがとうございます。皆さんには、それぞれのお立場から、県民の健康づくりのために日々取り組んでいただいていることに、心から御礼申し上げます。

本日の会議では、皆さんと二つの「思い」を共有したいと考えています。

一つ目は、「厳しいという危機意識」です。

これまで、皆さんと協働しながら健康づくりに取り組んできた結果、県民の皆さんの健康寿命は着実に伸びてきております。

一方で、様々な健康指標について、全国と比較して、かなり悪い状況にあります。この具体的な話は後ほど事務局から説明いたします。

本会議の設置目的であり、県政の最重要施策でもある「全国に誇れる健康長寿県の実現」に向けて、「今、厳しい状況にある」という「危機意識」を皆さんと共有したいと思います。

二つ目は、「共に取り組む意識」です。

本日お集まりいただいた委員の皆さんお一人お一人が、県民の皆さんの健康づくりを支えるキーパーソンです。

我々は「県民の皆さんに、より健康で元気になっていただきたい」という思いを一つにしています。皆さんがそれぞれのお立場から広く呼び掛け、県民の皆さんと共に健康づくりに取り組んでいただくことで、「健康長寿ふくしま」を必ず実現することができると思っています。

本日の会議では、来年度からスタートする「第三次健康ふくしま21計画」を御審議いただきます。この計画は、県と各団体・企業等の皆さんが共に推進主体となり、協働して健康づくりに取り組んでいくための行動計画です。

本県の健康指標は非常に厳しいという現実をしっかりと受け止め、改善に向けてどのように取り組んでいくべきか。「危機意識」と「共に取り組む意識」、この二つの思いを皆さんと共有しながら会議を進めさせていただきたいと思っています。

また、会議終了後には、東京大学の古井先生、また市長さん、社長さんと共に、地域や企業における健康づくりに関するパネルディスカッションを開催いたします。参加される市町村長や企業経営者の皆さんとも先ほどの二つの「思い」を共有しながら、一緒に健康づくりに取り組む気運を高めていきたいと考えておりますので、本日は皆さん、最後までどうぞよろしく願いいたします。

4 議 事

(1) 議案第1号 役員の選任について

○資料1により事務局から議案内容の説明。

※事務局案を伺いたいの声あり。

○事務局案として以下4名を提案。

公立学校法人福島県立医科大学 理事長 竹之下 誠一委員

一般社団法人福島県医師会 会長 佐藤武寿委員

福島県商工会議所連合会 会長 渡邊博美委員

福島県農業協同組合中央会 代表理事会長 管野啓二委員

○事務局案のとおり承認された。

<選任時挨拶>

■公立学校法人福島県立医科大学 理事長 竹之下 誠一委員

福島県立医科大学理事長の竹之下と申します。精一杯努めてまいりますので、どうぞよろしく願いいたします。

■一般社団法人福島県医師会 会長 佐藤武寿委員

福島県医師会の佐藤でございます。我々医師会は、県民の健康・福利のために検診を実施しておりますが、残念ながら検診の受診率が低い状態です。受診率を改善することで、平均寿命や健康寿命の延伸につなげることができると考えております。皆さんの御協力をよろしく願いいたします。

■福島県農業協同組合中央会 代表理事会長 管野啓二委員

JA ふくしまの管野でございます。我々の組織でも、女性部の料理教室や、青年連盟の健康管理活動など、それぞれの所属・地域において、幅広く健康に関連する取り組みを実施しております。会長のもと、今後もしっかりと取り組んでまいりますので、よろしく願いいたします。

※福島県商工会議所連合会 会長 渡邊博美委員は欠席

(2) 議案第2号 第三次健康ふくしま21計画について

○はじめに、資料2により福島県民の健康指標の状況について事務局から説明。

○次に、資料3により第三次健康ふくしま21計画（部会案）の概要について事務局から説明。

■内堀会長

この部会案は、専門部会の「地域・職域連携推進部会」において検討されてきたものです。健康長寿ふくしまの実現に向け、必要な取組を網羅してしっかりと取りまとめいただいていると思います。一方で、特に重要な課題についての「見える化」が必要と感じております。重点的に取り組む課題を盛り込むことについて、皆さん、いかがでしょうか。

■一般社団法人福島県医師会 会長 佐藤武寿委員

知事の提案に賛成いたします。

重点的に取り組む課題として、例えば、全国ワーストクラスにある3つの生活習慣に関する指標、「肥満」「食塩摂取量」「喫煙」の改善を目指すことを盛り込むのはいかがでしょうか。

■内堀会長

その他意見等ありますでしょうか。

※意見等なし

■内堀会長

佐藤委員から御意見いただいた、これらの生活習慣の指標を改善することは、本県の健康寿命の更なる延伸につながるものであり、重点的に取り組む課題としてふさわしいと思います。佐藤委員から頂いた3点を軸に部会で検討してもらおうこととし、その結果は改めて報告いたします。

その他、計画の内容に関して、質問、意見等、ありましたらお願いします。

※意見等なし

■内堀会長

意見等がないようですので、それではお諮りいたします。

第三次健康ふくしま21計画の中間取りまとめ（案）について、今回の内容を本会議として承認することとしてよろしいでしょうか。

※異議なしの声

○資料4により計画策定に向けた今後のスケジュールについて事務局から説明。

※意見等なし

(3) その他

内堀会長から委員を指名し、健康づくりに係る考え等について各委員から発言。

<各委員発言>

■公立学校法人福島県立医科大学 理事長 竹之下 誠一委員

福島県は、健康指標ワーストが多く、残念と感じております。課題解決に向け、医大が中心となり一生懸命取り組んでまいりますので、よろしくお願いいたします。

■一般社団法人福島県医師会 会長 佐藤武寿委員

様々な課題がありますが、早期に適切な医療・支援に結び付けることが重要だと感じております。これからどんどん寿命がのびてくると、様々な病気も出てきますが、特に慢性腎臓病について注目しています。

慢性腎臓病は、65歳以上の高齢者の8人に1人が罹患しています。様々な原因がありますが、体内の老廃物を排出する機能が低下して、最終的には腎不全になります。早い段階での、色々な支援を実施していく必要があると思っております。

■福島県農業協同組合中央会 代表理事会長 管野啓二委員

健康を考える上で、衣食住の“食”が一番重要であると認識し行動しております。福島県は、果樹・野菜・肉・水産物など、非常にバランスの取れた生産

活動をしています。「地産地消で、新鮮な旬の食材を食べる」ことは、健康の秘訣であり、またフードマイレージの観点からも、環境に配慮した取り組みです。

それぞれの組織や地域で、健康なうちに健康増進活動に参加していただくことが大切だと思います。活動に参加できる機会を増やしていきますので、より多くの方に参加を求めていきたいと思っております。

■日本労働組合総連合会福島県連合会 会長 澤田精一委員

今、人口減少が大きな課題となっております。本会議において地域・職域連携の取り組みについて取り上げられましたが、人材・働き手の確保という点からも、健康で長く働いていただくことが重要だと考えております。職域の中でしっかり連携し、対応していきたいと思っております。

■福島産業保健総合支援センター 所長 中野新一委員

医師会員として、福島県民の喫煙率が全国ワースト1位となってしまったことを、大変憂慮しています。

イエローグリーンキャンペーンをはじめとして、喫煙率減少に向けた取り組みに積極的に対応していきたいと思っておりますので、ご協力をお願いいたします。

■全国健康保険協会福島支部 支部長 遠藤隆男委員

協会けんぽでは、関連した事業所数3万7千ヶ所、会員者数63万人を超え、県民の3人に1人が会員となっております。

3つの大きな柱の下、取り組みを行っております。一つ目は「健診保健指導の実施」、二つ目は「重症化予防の取り組み」、三つ目は「コラボヘルスの推進」で、県と「健康経営優良事業所認定制度」に取り組んでおります。

加入者の健康維持・増進が、ひいては福島県民の健康指標改善につながるものと認識しております。引き続き全力で取り組んでまいります。

■福島県歯科医師会 会長 海野仁委員

虫歯リスクや歯周病に対して、県民の皆さまは大変な知識をお持ちで、周知は進んでいくものと思われまます。

今取り組むべき口腔対策として、オーラルフレイルが挙げられます。高齢になってからの予防診療はうまく進みにくい点があるため、働く世代の壮年期のうちに、オーラルフレイル予防に向けた生活習慣を身に付ける働きかけなどが必要と考えます。運営側としても、「飲み込む」「噛む」「食べる」「笑う」ことも含めて、オーラルフレイルの周知と合わせ、取り組んでまいります。

■福島県薬剤師会 会長 長谷川祐一委員

お薬を受け取りに来られる方で、胃薬を飲んでいたり胃が弱いといった方に対して、検診を勧めています。胃の検診をすると、もともと家族的に悪かったといったこともわかります。検診後の特定指導を必ず受けるよう、啓発活動をしていきたいと思っております。

また、子供たちを対象とした薬物乱用防止教室の中で、薬物の他にも、依存性のあるたばこの害についての周知も進めております。若い世代への、喫煙率減少にむけた取り組みを、今後も継続して対応していきたいと考えております。

■福島労働局 局長 井口真嘉委員

過重労働防止対策、メンタルヘルス対策、治療と仕事の両立支援などを通して県民の皆さんのお役に立ちたいと考えており、福島産業保健総合支援センターとも連携しながら、職域における健康増進に取り組んでおります。

引き続きよろしく願いいたします。

※以上で予定時間となったため終了。

■内堀会長

突然の御指名でしたが、御協力をいただきありがとうございました。

本日の会議を契機として、改めて我々一丸となって、県民の健康づくりを進めていきたいと思います。

この後のパネルディスカッションもよろしくお願いいたします。

以上